

## ご挨拶

同窓会会長  
占部 憲一

紅葉の季節となり、同窓生の皆様におかれましては、ますますお元気でご活躍のことと推察いたします。

母校、名古屋学院大学は、経済学部、商学部、外国語学部の三学部に加え、大学院を二年前に開設し、ますます充実した体制となつてまいりました。特に中口ビルさかえサテライトで開かれております社会人のための大学院は、好評で、さまざまなマスコミにも取り上げられております。

同窓会も二万八千名を越える会となり、昨年10月17日に名古屋ビルトンホテルにおきまして、第二期生が卒業して30年が経過したことを記念し、30周年記念事業を開催しましたところ、大学の教員、職員の皆様を始め、大学の理事、評議員、敬愛同窓会の役員にもご出席を賜り400名を越える同窓会員にご出席をいただき旧交を温めていただきました。

本年は、従来通り大学祭の時期に大学において、ホームカミングデーと銘打ち、懇親会を開催させていただきました。

楽しい会にしたいと思っておりますので、ご家族そろつてご参加賜りたいと存じます。

本年度も同窓会の活動にご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

理事長  
内山 道明

名古屋学院大学同窓生のみなさまが各界でますますのご活躍、心からお喜び申し上げます。また、日頃同窓会の運営に当たられておられます会長をはじめとして役員のみなさまのご努力に敬意を表します。

昨年は同窓会30周年記念事業のうち講演会ならびに懇親会が多くの同窓生の出席のもと盛大に開催され、同窓会の発展ぶりを目の当たりに感じて心強く思いました。

その折りにもご報告させていただきましたが、本学も35年の歴史を重ねて、今日では大学院2研究科、3学部4学科と、さらに来年4月には経済学部政策学が開設され5学科となり、学生数5000名の、いまや中部圏における優良中堅大学として位置づけられるようになってまいりました。

しかしながら、昨今の教育環境は私学にとつて、きびしさを増しており、経営努力ならびに教育充実政策を教職員あげてはかかっているところですが、同窓生のみなさまによる力強いご支援も不可欠のものとなつてきております。同窓生のみなさまとより結びつきを深めるため、同窓会オフィスの「さかえサテライト」開設を始めとして大学の動きを適宜お知らせするなど身近に大学を知っていただく努力もしております。また、瀬戸キャンパスも各施設が整備され、ここ10数年で大きく変わってきております。

大学祭期間中に開催されますホームカミングデーには是非ともご家族そろつてご参加いただき、同窓生・在学生として教職員が一同に会し、新たに名古屋学院大学ファミリーの連帯感高揚の場としていたたきたいと思っております。

学長  
佐藤 自郎

爽やかな季節となりました。同窓生の皆様には益々お元気に各方面においてご活躍の様子、心からお喜び申し上げます。本学も第1回の卒業生が社会に出られてから、30余年となりました。この間における卒業生の皆様のみなならぬご努力の結果が社会における今日の名古屋学院大学の評価を高めていただいたものと、深く感謝申し上げます。同窓生としてのご活躍も軌道に乗り、機会あるごとに大学に対してご援助いただきありがとうございます。昨年、父母会と共に贈っていたいた榎も立派に根つき、学生たちに憩の緑陰を提供してくれています。10年後のさらに成長した並木に憩う学生たちの姿を思い、改めて心から御礼申し上げます。

大学は本年4月に大学院経済経営研究科に経営政策専攻の「博士課程」が開設され、予定しておりました大学院の計画は二応完了致しました。また懸案でありました経済学部の政策学科設置が7月末に認可されまして、来春より新しい学生を受け入れる準備を進めております。

ご承知のとおり、現今の社会情勢のもとでの学生諸君の厳しい就職状況を考えると、本学に社会が求めている人間を育成することの重要性を以前にも増して痛感し、日々努力しているところであります。単なる表面的な知識、技能の習得のみならず、それを将来予想される様々な局面において活かすことのできる応用力、創造力を備えた人間の育成を目指し、建学の精神に基づく豊かな人格と専門知識を備えた学生を社会に送り出そうと心がけております。そのために2000年からは新しいカリキュラムを編成しました。

また新たに卒業する学生諸君にとって、社会で一番身近で、頼りになるのは先輩、同窓生の皆さんです。後輩のため暖かいご助言、ご指導をお願い申し上げます。最後に、同窓会の益々の発展を祈念して、ご挨拶と致します。